

## 1 校務の情報化について

仙台市では、平成 18 年度までにすべての市立小中学校に校内 LAN が整備され、本格的に情報教育を推進するとともに ICT を活用した授業等を中心に教育の情報化に努めてきている。学校内には学習用のパソコンが整備され、コンピュータ室だけではなく、一般教室でも児童生徒の授業を中心として積極的に活用されてきている状況にある。そして、教員のコンピュータの活用についても、授業で指導できる教員が多くなっている。

また、教職員用パソコンについては、今年度から年次計画で整備の予定である。

さて、昨今校務は、複雑で業務量も増大している状況にある。そこで、情報化を進めて効率的な校務処理を行うことにより、子どもと向き合う時間を増やしたり、教材研究の時間を増やしたりしながら、教師本来の活動時間を生み出し、教育活動の質を高めていくことが必要になっている。

しかし、校務の情報化については始まったばかりであり、十分に整備されてはいない状況にある。そこで、本部会では仙台市立小中学校における校務情報化について、具体的に効率的な活用事例等を提案する。

## 2 部会テーマ

校務を情報化・効率化するための校務へのコンピュータの活用のあり方。

## 3 部会のねらい

校務にコンピュータを活用し、校務の情報化・効率化を図ることにより、教材研究の時間や子どもと向き合う時間を増やす。

## 4 部会の活動内容

- ・コンピュータによる効率化が可能な校務の研究
- ・校務にかかわる各種様式データの共有

## 5 校務情報化の具体的な推進事例（提案）

まとめる = 共有フォルダの標準化

つたえる = 通信表のデジタル化

あつめる = 校務情報の共有化（教材コンテンツやテンプレート）

校務支援グループウェアの検討

情報セキュリティおよび管理権限の検討

## 6 まとめと課題

校務の情報化は、子どもと向き合う時間を増やすことだけでなく、教育の質的な向上を図ることが可能である。

情報の共有化を進めることにより、同僚から教育のノウハウを学び取ることも可能である。

共有化を図る上で情報セキュリティポリシーを明確にしていかなければならない。

校内研修等で教員の校務情報化の技術向上を図っていく必要がある。